

こぶちうのもりこうえん  
古淵鵜野森公園

所在地・・・神奈川県相模原市南区鵜野森1丁目ほか

面積・・・48,200㎡

実施主体・・・相模原市公園課

問合せ先・・・【住所】神奈川県相模原市中央区中央2-11-15  
【TEL】042-769-8292

古淵鵜野森公園

対象地の概要・・・神奈川県と東京都の県都境を流れる境川に面したわずかな平地と河岸段丘の斜面緑地には、ニリンソウ、ヤマエンゴサクに代表される春植物や、ヤマブキソウなどのレッドデータ種が数多く見られる。この斜面緑地一帯と、崖上のスポーツ・レクリエーション施設を一体的に整備、開設した地区公園では、崖地部分に相模原台地を形作った10万年間の火山灰堆積が観察できる「路頭」を見ることができる。

## 事業への取組みのきっかけ

市街地の中に残る斜面緑地では、河川(境川)との関係を絶たれ薪炭利用もなくなったことで遷移による照葉樹林化が進行し、姿を消した林床植物もある中で、動植物調査から国および神奈川県のレッドデータ種が多数確認されたため、散策路以外の立入りを抑制するなど保全型の公園として整備した。

## 取組み概要

取組み実施期間・・・平成17年(2005年)から現在継続中  
※整備実施期間・・・平成17年～平成21年度(2005年～2009年度)

## ①「モニタリング調査の実施」に向けた取組み手法

## Step1:自然環境(動植物)調査等の実施

周辺の斜面緑地を含めた河畔林相、林床等の状況を調査し、人の手入れによる植物の順応変化に対応した永続的管理を計画した。

## Step2:間伐・伐採等の手法検討

常緑樹の間伐・伐採、下草刈りは状況変化に応じて段階的な実施を行う手法検討をした。

## Step3:保護エリアの設定と立入り抑制

「ヤマブキソウ」保護エリアを設定し、丸太ロープ柵と間伐材の敷き並べにより散策路からの立入りを抑制し、看板で調査実施を明示した。

## Step4:モニタリング調査の永続実施

植物分布の範囲、個体数、開花数、結実数の増減を定期的に観察した。また必要に応じて、林床の相対照度や土壌水分含有量を測定して、その後の永続的な調査と手入れ管理等に反映させている。

## ② 取組み時の協働者との関わり

—

## ③ 取組み時の留意点

—



ヤマブキソウの保護エリア



植物分布の調査



林床の相対照度の調査



ニリンソウ



ヤマエンゴサク



現存するヤマブキソウ(レッドデータ種)



コウライイチゴゴケ



市民団体による下草刈りの様子



市民団体による間伐の様子

## 備考

## 現在の課題

将来的にどのような緑地を目指すのか、保全のターゲット生物を何にするのかなど、同じ在来種の植物どうしても競合関係にあり、手入れの結果姿を消した林床植物に対する影響を考え、それに関わる合意形成も必要である。順応的管理やモニタリングに係る長い年月に組織と人材確保の永続性が求められる。

## 事業効果

- 春植物を中心とした林床植物の生育範囲は確実に拡大しており、絶滅危惧種である「ヤマブキソウ」に関しては保護エリア設置して間伐・伐採を進めた結果、開花数・結実数ともに飛躍的に増加している。